

「高校生 ICT Conference 2025 in 兵庫」 参加報告

9月15日（月）に姫路情報システム専門学校で、「高校生 ICT Conference in 兵庫」が開催され、福崎高校・播磨福崎高校の両校から、8名の有志が参加しました。

高校生 ICT Conference は、高校生が身近なスマホやインターネットについて、これまでの経験や知識、意見を出し合って、世の中の課題解決に有効な活用方法を目指し、その場での議論をサミットで取りまとめて、こども家庭庁、総務省、文部科学省など政府に提言するというものです。

今年のテーマは「中高校生が考える世代を超えた ICT や AI の活用と課題解決の提案～偽・誤情報等のリスクを見極め、安全で豊かな情報社会を築くために～」というもので、高校生の視点から ICT や生成 AI の活用方法について、各校の生徒たちと議論しました。

どの班も白熱した議論が展開され、最後には各班でまとめた意見をプレゼンテーション発表しました。

すべての発表が終わり、もっとも内容が良かった班を生徒たち自身で決め、選ばれた班から代表者1名が兵庫県代表として、全国大会に参加が決定しました。

残念ながら、本校の生徒が代表者とはなりませんでした。が、良い経験ができたと思います。この経験を今後の活動に活かしていけるようにしていきたいと思います。

【参加した生徒の感想】

- ・他校の生徒と沢山交流することができて、貴重な経験になりました。同じ高校生でも考えている内容やスライドに使う技術の発想などがすごくレベルが高くて驚きました。
- ・とても楽しかったです。皆しっかりしていて、とても話しやすかったです。もう少し時間が欲しかったです。たくさんの学びがありました。次回も参加したいです。
- ・はじめは緊張してあまり上手く話せないかもしれないと思っていたけれど、案外、知らない人だからこそ思ったことを話せてしっかりした議論になった気がします。
- ・私は今回初めて ICT カンファレンスに参加したのですが、参加するまでは難しそう、話合えるかなという印象が強く、マイナスなイメージを持っていました。しかし、いざ参加すると同じグループの人と付箋を出し合って模造紙にまとめたり、スライドを作ったり、前に立って発表したりと、他校の生徒とこのように関わることで自分にとっての初体験でした。

私が一番印象的だったのは、自分のグループと他グループの提言の違いです。私のグループは企業に対して、学校に対してなど、特定のモノに提言しました。しかし、他グループは生成 AI や情報のメリットとデメリットをどのように生かすか、また国に対して提言してるグループもありました。このように、自分の考えと他校の生徒の考えが違うことで、様々な視点から物事を考える重要性が伝わってきました。

私達、高校生が今現在、最も生成 AI と関わっています。生成 AI は便利ですが、その情報を鵜呑みにしてしまう傾向があります。だからこそ、全ての情報を鵜呑みにせず、たくさんの情報源から正しいと思う情報を自分で見極める力が大切だと思いました。

ICT カンファレンスを通して、他校の生徒と関わったり、色々な意見を出し合ったりと、私の中でマイナスだったイメージもプラスに変化していきました。少し難しいと思う部分もありましたが、様々な気づきがあって楽しかったし、高校生のうちにこのような機会に参加できて良かったです。

【当日の様子】

